

発 言 者 ・ 会 議 の て ん 末 ・ 概 要

1 開会

司会（渡部課長）

皆さん、こんにちは。本日はお忙しい中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。私は本日の司会を務めさせていただきます健康医療課長の渡部と申します。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

会議に先立ちまして、お願ひがござひます。新型コロナウイルスの感染予防のため、会議中は室内換気で、窓や出入口の一部を開けさせていただきますので、ご了承ください。

それでは、ただいまから令和4年度第1回久喜市健康増進・食育推進会議を開会いたします。会議は、久喜市健康増進・食育推進会議条例第7条第2項の規定により、委員の過半数の出席が必要となりますが、出席委員は、現在のところ14人で、定数の過半数に達しておりますことから、本日の会議が成立いたしますことをご報告させていただきます。

続きまして、会議の公開及び会議録の作成について、ご説明させていただきます。会議につきましては、審議会等の会議の公開に関する条例に基づきまして、公開とさせていただきます。今のところ、傍聴者はおられません。また、会議録作成のために録音させていただきます。会議録の作成形式につきましては、ほぼ全文記録としまして、会議録の確認及び署名につきましては石崎会長にお願ひしたいと存じます。

続きまして、本日の会議の終了予定時刻でござひますが、午後2時45分頃とさせていただきますと考えておりますので、ご協力をお願ひいたします。

2 あいさつ

司会（渡部課長）

それでは次第に基づき会議を進めさせていただきます。次第2のあいさつでござひます。開会にあたりまして、石崎会長からごあいさつをいただきたいと存じます。石崎会長よろしくお願ひいたします。

石崎会長

会長の石崎でござひます。本日はご多忙の中ご出席いただきまして、ありがとうございます。前回の会議でお会いして以来1年以上経過いたしております。昨年3月は書面会議となりましたが、そちらでご説明いただいた通

り、次期計画の策定期間が令和5年度に変更したということで、今年いよいよ策定に向けての協議が本格化する年に入っています。本日の会議は、久々の対面での会議となりますので、ぜひ皆様から活発なご意見を頂戴いただけましたら幸いです。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

司会（渡部課長）

ありがとうございました。

続きまして、本日は、令和4年度に入りまして、初めての会議となりますので、事務局の職員を紹介させていただきたいと思っております。

（健康・子ども未来部関係職員及び事務局職員等の紹介）

司会（渡部課長）

皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。

続きまして、本日の配付資料を確認させていただきたいと存じます。事前に送付させていただきました資料が10点ございます。

1. 次第

2. 資料1 令和3年度事業実績及び令和4年度事業計画

3. 資料2 指標一覧

4. 資料3 第2次健康増進・食育推進計画に基づく事業計画案

5. 資料4 計画の体系

6. 資料5 久喜市自殺対策計画の進捗について

7. 資料6 地域自殺実態プロファイル2022

8. 資料7 次期（仮称）健康増進・食育推進計画・自殺対策計画策定に係るアンケート調査の概要

9. 資料8 次期（仮称）久喜市健康増進・食育推進計画・自殺対策計画策定スケジュール案

10. 資料9 第10回久喜市健康づくり・食育推進大会実施要領

以上でございます。不足がございましたら恐れ入りますが、お申し出いただければと思います。皆様、資料はおそろいでしょうか。

**3 議題**

司会（渡部課長）

それでは次第の3の議題に移らせていただきます。議事の進行につきましては、久喜市健康増進・食育推進会議条例第7条第1項の規定により、石崎会長にお願いしたいと存じます。石崎会長よろしく申し上げます。

(1) 第2次久喜市健康増進・食育推進計画の推進について

1) 令和3年度事業実績及び令和4年度事業計画について

議長（石崎会長）

はい。それでは、しばらくの間、議長を務めさせていただきます。会議が円滑に進行できますよう、皆様のご協力をお願いいたします。

それでは、(1) 第2次久喜市健康増進・食育推進計画の推進についての

1) 令和3年度事業実績及び令和4年度事業計画について、事務局より説明をお願いいたします。

事務局（近藤課長  
補佐兼係長）

それでは事務局から、令和3年度事業実績及び令和4年度事業計画についてご説明・ご報告させていただきます。失礼ですが、着座のまま説明させていただきますかと存じます。

資料1をご覧くださいと存じます。

こちらの資料ですが、第2次久喜市健康増進・食育推進計画に基づく実績及び計画について、令和4年4月に庁内各関係課等に照会し、取りまとめ、7月に開催の作業部会及び12月の庁内連絡会議において修正・確認させていただいたものでございます。

こちらの事業実績及び事業計画につきましては、後程ご説明させていただきます、資料4にございますように、計画の体系にあります、1. 分野別の健康づくりの推進、2. 健康寿命を延伸する食育の推進、3. 生活習慣病の発症予防と重症化予防、4. 分野別の食育の推進、5. 健康づくり・食育推進を支える環境の整備と、5つに分類した取り組みの方向性から、分野別の項目を設定し、それぞれの項目に市の事業を関連づけて取り組みを推進しております。多くの事業・取り組みと関連づけておりますことから、本日は全部で13項目あります分野別項目の主な事業についてご報告させていただきます。

では、資料1に戻りまして、分野別の項目のNo. 1「身体活動・運動」でございます。事業数につきましては、令和3年度は33事業、令和4年度が30事業でございます。主な事業は、子ども未来課の親子講座事業や、中央保健センターの乳幼児の保護者等への情報提供、健康づくり運動教室などがございます。減少した事業につきましては、事業の集約に伴うものでございます。

続きまして、No. 2「休養・こころの健康」でございます。事業数につきましては、令和3年度、4年度ともに40事業でございます。主な事業は、中央保健センターの精神保健福祉士によるこころの健康相談や、健康医療課の

自殺予防キャンペーン、ゲートキーパー養成講座などでございます。

続きまして、No.3「たばこ・アルコール」でございます。こちらにつきましては、申し訳ありません、この場で訂正をお願いしたいと存じます。令和2年度に受動喫煙防止対策の方針の策定及び策定に伴う調査の2事業につきまして、方針の策定完了に伴い終了したものを令和3年度においても計上してしまっておりました。こちらは2事業削減し、16事業ということで説明と報告をさせていただきたいと思えます。表中も中止・廃止が3事業となっておりますが、2事業減になります。つきましては、事業数は令和3年度、4年度ともに16事業でございます。令和3年度の主な事業といたしましては、指導課及び小中学校での生活指導や、健康医療課の受動喫煙防止対策の推進などでございます。

続きまして、No.4「栄養・食生活、食の安心・安全」でございます。事業数につきましては、令和3年度、4年度ともに26事業でございます。主な事業といたしましては、中央保健センターの栄養講座や高齢者福祉課の配食サービス事業などでございます。

続きまして、No.5「歯・口腔の健康」でございます。事業数につきましては、令和3年度が29事業、令和4年度が28事業でございます。主な事業といたしましては、学務課、幼稚園での歯みがき指導、中央保健センターの各種健康診査、高齢者福祉課の健口教室などでございます。減少した事業につきましては、むし歯予防教室でございます。こちらについては、教室の開催から、乳幼児健診等を通じて保護者へかかりつけ歯科医を持ち、定期的に歯科健診を受けることについて推奨する方針に切り換えたことによるものでございます。

続きまして、No.6「がん」でございます。事業数につきましては、令和3年度、4年度ともに15事業でございます。主な事業といたしましては、中央保健センターのがん検診事業、成人健康診査事業等でございます。

続きまして、No.7「心疾患・脳血管疾患・COPD・糖尿病・CKD」でございます。事業数につきましては、令和3年度が43事業、令和4年度が41事業でございます。主な事業といたしましては、国民健康保険課の特定健康診査事業、国民健康保険課と中央保健センターでの特定保健指導事業、子ども未来課の保健師による講習会等でございます。減少した事業につきましては、愛宕会館健康相談が実施主体からの申し入れにより終了したものと、小児科医師講習会事業を日赤指導員による医療講習会及び助産師による講習会へ移行、分割したことに伴うものでございます。

続きまして、No.8「食文化の継承」でございます。事業数につきましては、令和3年度が10事業、令和4年度が7事業でございます。主な事業といたしましては、学務課、幼稚園、保育課の幼稚園・保育園における伝統的な食文化の継承、学校給食課と各学校の学校給食事業などがございます。減少した事業につきましては、各しみん農園事業において実施しております。郷土料理、伝統料理、行事食を伝える料理講習会の終了に伴うものでございます。

続きまして、No.9「地産地消の推進」でございます。事業数につきましては、令和3年度が15事業、令和4年度が11事業でございます。主な事業といたしましては、学校給食課の学校給食事業、農業振興課の農産物ブランド化推進事業などがございます。減少した事業につきましては、No.8で申し上げました「食文化の継承」と同様となりますが、しみん農園事業において実施しております料理講習会の終了のほか、園児と農産物生産者の皆さんの交流会について、新型コロナウイルス感染症の感染動向から中止としたものでございます。

続きまして、No.10「環境を意識した食の循環」でございます。事業数につきましては、令和3年度が10事業、令和4年度が9事業でございます。主な事業といたしましては、資源循環推進課の食品ロスに関する啓発、環境課のリサイクル促進事業などがございます。減少した事業につきましては、ノーレジ袋キャンペーン事業がアンケート調査の結果、マイバッグの使用が9割を超え、生活に定着したことが確認されたことから終了となったものでございます。

続きまして、No.11「若い世代を中心とした食育の推進」でございます。事業数につきましては、令和3年度が11事業、令和4年度が9事業でございます。主な事業といたしましては、指導課、各学校の学級活動、保健体育事業等でございます。減少した事業につきましては、調理実習及び料理教室事業について、新型コロナウイルス感染症の感染動向から中止とされたものでございます。

続きまして、No.12「実践化への方策と推進」でございます。事業数につきましては、令和3年度、4年度ともに5事業でございます。主な事業といたしましては、中央保健センターの健康マイレージ事業、スポーツ振興課の学校体育施設等の開放などがございます。

続きまして、No.13「多様な暮らしに応じた環境整備」でございます。事業数につきましては、令和3年度が14事業、令和4年度が13事業でござ

います。主な事業といたしましては、指導課、各学校の給食指導、生涯学習課の放課後子ども教室推進事業などがございます。減少した事業につきましては、No.11で申し上げました、「若い世代を中心とした食育の推進」と同様でしたが、料理教室事業につきまして、新型コロナウイルス感染症の感染動向から中止としたものでございます。

事業の総数でございますが、先程のNo.3の「たばこ・アルコール」で報告いたしました2事業を差し引きまして、令和3年度は計画されていた267事業のうち、新型コロナウイルス感染症の影響等により、29事業が中止となり、実施された事業は238事業となったところでございます。なお、令和3年度の事業の総数は250事業となっております。今年度もコロナ禍の影響を受けておりますが、各課・関係課では、感染防止対策を徹底しながら、可能な範囲で事業を継続しているところでございます。

令和3年度事業実績及び令和4年度事業計画の説明、報告につきましては以上でございます。

議長（石崎会長） ただいま事務局から、令和3年度事業実績及び令和4年度事業計画について説明がありました。ご質問・ご意見等ございましたら、挙手をお願いいたします。

(加藤委員挙手)

議長（石崎会長） 加藤委員、お願いいたします。

加藤委員 9番の地産地消の推進の中の農産物のブランド化について、具体的に久喜市としてブランド化している品目は何があるのか、差し支えなければ教えてください。

議長（石崎会長） 事務局よりご回答可能でしたら、お願いできますでしょうか。

事務局（近藤課長補佐兼係長） 申し訳ありません。具体的な品目等については、把握していないところでございます。

(杉田委員挙手)

議長（石崎会長） 杉田委員、お願いいたします。

杉田委員 委員の杉田でございます。先程のご質問でございますけれど、久喜市では、農業振興課が一昨年からの事業に取り組んでおり、葉物類では小松菜やほうれん草などです。また特別栽培ということで県の認証また久喜市の認証を受けた野菜等を市内のスーパーや直売所で販売しております。  
以上でございます。

議長（石崎会長） はい。ありがとうございました。他にありますでしょうか。

（清野委員挙手）

議長（石崎会長） 清野委員、お願いいたします。

清野委員 今のところの地産地消の推進ですが、学校給食事業にはどのような野菜や食材が給食に多く使われていますか。

（杉田委員挙手）

議長（石崎会長） 杉田委員、お願いいたします。

杉田委員 ただいまの質問でございますが、今の時期ではほうれん草や人参、小松菜、大根、白菜、またキャベツ等が出荷されております。概ね、久喜市のもので特別栽培として認定を受けているものが出荷されているような状況でございます。  
以上でございます。

議長（石崎会長） はい。ありがとうございました。

他にいかがでしょうか。

いくつかの事業が中止になった理由としましては、コロナの感染の原因というふうに承りましたけれども、令和4年度は前年度よりは回復しつつ、事業を実施していただいているということで拝聴いたしました。本議題につきましては、よろしいですか。

2) 令和3年度の評価について

議長（石崎会長）

それでは、次に移らせていただきます。令和3年度の評価について、事務局よりご説明お願いいたします。

事務局（近藤課長  
補佐兼係長）

こちらにつきましては、第2次久喜市健康増進・食育推進計画策定時に計画の評価として、健康・食育に関する統計や食育セミナー、健康づくり・食育推進大会でのアンケート調査、関係課での事業実績をもとに、取り組み項目ごとに設定した目標値と対比してお示したものでございます。なお、アンケート調査から得られる数値は回答数が少なく、回答者の世代にも偏りがございますことから、参考値としてお示ししておりました。例年、健康づくり・食育推進大会や食育セミナー等でアンケート調査を実施し、参考値を算出していたところ、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に伴いまして、食育セミナー、健康づくり・食育推進大会の実施にあたり、会場での来場方式をとらなかつたことから、アンケート調査を実施することができず、大部分の項目が参考値を算出することができませんでした。

また、書面会議にて開催いたしました、昨年度の第2回健康増進・食育推進会議におきまして、国の計画期間延長に合わせた現行計画の1年延長について、皆様からご承認いただいたところでございますが、目標値につきましては、国からの通知において、現行計画を延長する場合は改めて目標値を設定する必要はなく、従前より設定している目標の達成に向けて取り組みを継続することとされておりますことから、目標値は同水準で設定しております。それでは少ない項目とはなりますが、順にご報告いたします。

初めに、1. 分野別の健康づくりの推進のうち、「休養・こころの健康」での自殺者数でございます。令和3年度につきましては25人と、目標値である25人と同数でございます。「たばこ・アルコール」での妊婦の喫煙割合でございます。令和3年度が1.1%となり、こちらにつきましては、令和元年度の2.2%、令和2年度の2.0%から、徐々に減っていつているところでございます。

続きまして、3. 生活習慣病の発症予防と重症化予防のうち、「がん」の各種がん検診受診率でございます。令和3年度は、胃がんが9.8%、肺がんが12.8%、大腸がんが32.0%、乳がんが19.9%、子宮がんが16.9%でございます。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染動向の影響に伴い、受診控えが見込まれたところではございましたが、すべてのがん検診において、令和2年度と比べて増加しております。参考に申し

上げますと、令和2年度は胃がんが6.7%、肺がんが10.1%、大腸がんが29.4%、乳がんが14.4%、子宮がんが14.0%でございました。

次に、特定健康診査受診率でございます。令和3年度は37.5%となっております。こちらにつきましても、令和2年度の35.8%から増加しております。

続きまして、4.分野別の食育の推進の「地産地消の推進」のうち、学校給食における久喜産農産物を使用する割合でございます。令和3年度は18.3%と目標値を超えております。

続きまして、5.健康づくり・食育推進を支える環境の整備の「実践化への方策と推進」で、健康マイレージ参加者数でございます。令和3年度は2,523人となっており、令和2年度の2,098人から425人増加しているところで、目標値達成が期待されるところでございます。

令和3年度の評価につきましては、以上でございます。

議長（石崎会長） ただいまの令和3年度の評価について、ご質問ご意見等ございましたら、挙手をお願いいたします。

評価の根拠としているアンケートの調査が、令和3年度に関しては実施ができなかったというところで、なかなか達成度をはかるのは難しいところではございますけれども、何か皆様からございますか。

(田中委員挙手)

議長（石崎会長） 田中委員、お願いいたします。

田中委員 アンケートの実施が難しかったということですが、学校への配布等は難しかったのでしょうか。

議長（石崎会長） 事務局より、ご回答お願いいたします。

事務局（近藤課長補佐兼係長） 確かに学校の協力をお願いすれば取れることはあったかなとは思いますが、令和3年度に関しましては、学校にアンケートというのを個別では行っておりませんでした。

田中委員 できる、できないではなくて、何かできる方法を皆さんで考えられるとよ

いのかなと思いました。

議長（石崎会長）

ありがとうございます。

評価の方法につきましては、もしかしたら次期計画においては、指標の作成とともに評価計画を作成しなければいけないのかなとも思いますので、その際に、どういう方法にしたらいいかというのは、検討できる内容だと思います。大会アンケートは、必ずしも市民を代表するような数字がとれるということではなく、大会に参加した方へのアンケートになりますので、なかなかそういった意味でも難しいところがあると思います。またこのあたりにつきましても、次期計画の検討時に皆様からご意見いただければと思いました。

ほかの項目につきましてはいかがでしょうか。

1点だけ私からよろしいでしょうか。がん検診の数字が出ておりましたので、令和2年度より令和3年度は回復傾向にあるような数字をお示しいただきましたけれども、平成27年度に遡りますと、若干、低下傾向にあるというのは、こちらはまだコロナの影響を受けているのか、コロナの影響を差し引いてもがん検診の受診率が久喜市において低下傾向にあるのか、もしお分かりでしたら教えていただければと思います。

鳥海中央保健センター所長

はい。それでは、がん検診のことにつきましてですので、中央保健センターの私の方からお答えします。今、会長の方からご指摘のありましたように、先程ご紹介があった令和2年度、3年度につきましては、平成27年度からは減少傾向になっております。こちらにつきましては、やはり令和2年度はコロナが一番多く発症して、緊急事態宣言が初めて出されたところがございますので、市といたしましても、予約枠自体を絞った経緯があり、令和2年度が最低といった状況でございました。その教訓を受けまして、令和3年度は予約枠を増やして実施をしましたところ、受診率も上がったということがございます。今年度につきましてはさらに予約枠を増やしておりますので、平成27年度まではいきませんが、令和元年度ベースぐらいまでは回復しているという現状でございます。

以上でございます。

議長（石崎会長）

はい。ありがとうございます。計画されていた予約枠に対しては、ほぼ満たしているというような数字ということによろしいでしょうか。

鳥海中央保健センター  
所長

はい。

議長（石崎会長） ありがとうございます。他に委員の皆様より、ご質問等はいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

議長（石崎会長） 3) 第2次健康増進食育推進計画に基づく事業計画について  
それでは次に移らせていただきます。3) 第2次健康増進・食育推進計画に基づく事業計画についてとなります。事務局よりご説明お願いいたします。

事務局（近藤課長  
補佐兼係長） 続きまして、第2次久喜市健康増進・食育推進計画に基づく事業計画について、ご報告いたします。資料3をご覧ください。

本市では、第2次久喜市健康増進・食育推進計画の基本理念である、「笑顔あふれる元気なまち久喜市」を実現するため、4つの基本方針、5つの取り組みの方向性、13の分野別項目に基づき、各種施策を推進しております。このうち、13の分野別項目につきましては、各課における取り組みをはじめ、食育セミナー、健康づくり・食育推進大会において、平成29年度から令和5年度まで7か年にわたり、計画を推進していくこととしております。令和3年度につきましては、食育セミナー、健康づくり・食育推進大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、参加者来場集客方式は困難と判断し、食育セミナーは動画の作成、市のYouTube公式ページでの配信、健康づくり・食育推進大会は、市内の園児、小・中・高校の児童生徒から応募していただいた健康づくり・食育推進に関するポスターや標語の入賞作品を市ホームページへ掲載、といった形で規模を縮小して実施いたしました。申し訳ありません。資料3の（食育セミナー）で始まる食育セミナーの取り組みの※印のあとに「令和4年度からは食育動画作成」とございますが、「令和3年度」からの誤りでございます。令和4年度につきましても、新型コロナウイルス感染症の感染動向が影響したことから、健康づくり・食育推進大会の詳細は後程ご報告させていただきますが、食育セミナーにつきましても、昨年と同様、現在、動画配信に向けて進めているところでございます。近年の新型コロナウイルス感染症の影響に伴いまして、事業やイベントの実施につきましては、直接の交流が困難であっても、映像の配信やスマートフォン、タブレット、パソコン端末等を活用したオンライン参加型とい

った方法が広まっておりますことから、こうした新たな方式についても模索しているところでございます。令和5年度の行をご覧いただきたいと存じますが、6月の食育セミナーにつきましては、「環境を意識した食の循環」に関して取り組むこととしまして、11月の健康づくり・食育推進大会につきましては、「歯・口腔の健康」に関し、取り組む予定でございます。なお、健康づくり・食育推進大会につきましては、今週木曜日に、令和5年度の大会に向けた実行委員会が開催予定となっております。現行計画の最終年に当たりますことから、集大成としての大会として、取り組みの方向性を広く網羅することも検討される予定でありますことを、参考に申し添えます。

続きまして、資料4をご覧いただきたいと存じます。

こちらの資料は、第2次久喜市健康増進・食育推進計画の体系を図示したものでございます。資料の中央の列に健康づくり・食育推進大会及び食育セミナーの開催状況や今後の開催予定をお示ししておりますが、下線を引いた部分が、令和3年度、4年度の開催状況、二重線の部分が、令和4年度、5年度の開催予定及び取り組みを行う分野別項目となっております。これにより、7か年で13の分野別項目を計画的に推進するものでございます。

説明は以上でございます。

議長（石崎会長）      ありがとうございます。ただいま説明がありました、資料3と資料4につきましてご質問やご意見のある方は挙手をお願いいたします。

(田中委員挙手)

議長（石崎会長）      田中委員、お願いいたします。

田中委員                食育動画ですけれども、私は子どもが3人いますが、知らなかったんですね。この情報というのはどこから流しているのかと、今、登録者数とか再生回数を見たのですが1,000回ぐらいということで、どういう方たちに発信しているのかというところを知りたいです。

議長（石崎会長）      はい。ありがとうございます。事務局より、回答お願いできますでしょうか。

事務局（近藤課長      はい。市のホームページの中で、私ども健康医療課をはじめとする健康保

補佐兼係長)	健部門が関連するページのところに掲載をしております、最初のご案内につきましても、ホームページ等を通じてのお知らせをさせていただいたところでございます。
田中委員	せっかく作っていただいているので、先程も言いましたけれど、もっと学校を使って、配信をみんなで見る時間を作ってもいいと思います。せっかくやっているのに作るだけで終わってはもったいないなというふうに感じました。
事務局（近藤課長 補佐兼係長)	はい。ありがとうございます。特に学校には、後程ご説明する今年度の健康づくり・食育推進大会で動画を撮らせていただいたということもありますので、そちらも併せて、また皆さんにご覧いただくようご案内をしたいと思っています。
田中委員	多分ですが、皆さん自分の子が映っているなど、何か見たいと思わなければ再生回数は上がらないですし、興味を持たないと思うんですね。ですので、みんなが興味を持つような内容にしてもらえると、より良いのかなと思います。
事務局（近藤課長 補佐兼係長)	はい。ありがとうございます。
議長（石崎会長)	<p>今、ご意見にありましたように、動画を作成して一方的に提供するだけでは、そこに行き着いてもらえないとなかなか内容を知ることができませんので、その辺りのプロモーションの方法などは、かなり検討すべき内容かなと感じながら聞きました。</p> <p>他、皆様方からご意見等いかがでしょうか。今、あったようなデジタルコンテンツの活用も含めて何か新しい取り組みの案とか、実際にこんな取り組みをしているというようなことで、ご存知のようなことが何かございましたらと思いますけれども、いかがでしょうか。</p> <p>(斉藤委員挙手)</p>
議長（石崎会長)	斉藤委員、お願いいたします。

齊藤委員	ホームページにアクセスされている方の数とか、あるいはアクセスポイントについて、もし情報が分かれば教えていただきたいと思います。
事務局（近藤課長 補佐兼係長）	数字は今持ち合わせてはいいないところですが、ホームページのアクセス数等については、ホームページを運営している部署を通じて確認は可能でございますので、今後はそういった数字も参考にお示しできるような形でご報告・ご案内させていただきたいと思います。
議長（石崎会長）	はい。ありがとうございます。実際にどのぐらい活用されているのかというところが分かるとまた次の実行に移っていくと思いますので、数字等のご提示が可能でしたら、そちらも確認させていただきながら検討が進むとよろしいと思います。第10回健康づくり・食育推進大会に関しましては、また後程もう少し詳しくご説明いただけるということによろしいでしょうか。
事務局（近藤課長 補佐兼係長）	はい。
議長（石崎会長）	それでは、他に本議題につきましてご意見等がないようでしたら、次に移らせていただきますが、よろしいでしょうか。
	(2) 自殺対策の推進について
	1) 令和3年度自殺対策の進捗について
議長（石崎会長）	次の議題に参ります。(2) 自殺対策の推進につきまして、1) 令和3年度自殺対策の進捗について、事務局よりご説明お願いいたします。
事務局（近藤課長 補佐兼係長）	それでは、令和3年度自殺対策計画の進捗についてご説明ご報告いたします。 資料5をご覧くださいと存じます。
	(資料5の内容を説明)
	令和3年度の事業実施数につきましては、1. 「教育啓発の推進」において12事業、2. 「相談支援ネットワークとそれを支える人材育成」において27事業、3. 「いきいきと安心して暮らせる地域づくり」において20

事業、計59事業のうち、新型コロナウイルス感染症の影響による中止は1事業で58事業が実施され、今年度はすべての事業が実施予定となっております。

令和3年度自殺対策計画の進捗に関する説明・報告は以上でございます。

## 2) 地域自殺実態プロフィール2022について

議長（石崎会長）

ありがとうございました。こちらにつきましては、次の資料の「地域自殺実態プロフィール2022」という久喜市の実態についてのご説明もいただいてから、あわせてご意見・ご質問等いただきたいと思いますので、続けて資料6に関するご説明をお願いしたいと思います。

事務局（近藤課長  
補佐兼係長）

続きまして、地域自殺実態プロフィール2022についてご説明いたします。

資料6をご覧くださいと存じます。

こちらは、厚生労働省の指定調査研究法人等として、自殺対策の推進と研究や自主研究や検証を実施しております、いのち支える自殺対策推進センターが、厚生労働省や警察庁と国のデータをもとに集計・分析した結果から市町村に提供していただいているものでございます。地域ごとに主な自殺者の年代、性別、世帯構成、労務形態といった属性をもとに集計された自殺者の上位区分や、背景にある主な自殺の危機経路の過去5年の合計などをもとに、「子ども・若者」、「勤務・経営」、「無職・失業者」、「高齢者」、「ハイリスク地域」、「自殺手段」といった区分に情報を集約し、それぞれを重点パッケージという形で、地域における課題に取り組みを検討する際、施策の指標として示されているものでございます。これらの地域自殺実態プロフィールや計画における施策として実施している取り組み、アンケート結果などをもとに、次期健康増進・食育推進・自殺対策計画における課題抽出や施策の検討を行い、計画を策定する予定でございます。

地域自殺実態プロフィール2022についての説明は以上でございます。

議長（石崎会長）

はい。ありがとうございました。自殺対策の推進につきまして、現自殺対策計画の進捗状況と、地域自殺実態プロフィールについて説明をいただきました。これらにつきまして、ご質問、それからご意見等ございましたら、挙手をお願いいたします。

(新井委員挙手)

議長（石崎会長） 新井委員、お願いいたします。

新井委員 自殺の件数自体は、資料2の中で、だいぶ減っているというお話であったので、いいことだとは思いますが、最終的にうつ状態になっていって、そこから自殺に至るといの方がほとんどなわけですね。そういった方の中で、うつ状態を改善する、乗り越えるための受診行動であったり、カウンセリングを受けるとか、そういったことに関してこの資料の中で把握ができるのでしょうか。

議長（石崎会長） 事務局よりご回答お願いできますでしょうか。

事務局（近藤課長  
補佐兼係長） そこまで具体的な経路の部分というところは、正確な把握は難しいところでございます。

新井委員 多分、こういう方々は孤独で、おひとりで悩みを抱えて自殺という行動に至ってしまうと思います。落ちてしまった状況になってしまった後だとすると、自分からなかなか人に相談しようっていう行動につながらない場合がありますよね。悩みを抱えている方たちをすくい上げていくためには、そういったところを考えていかないと最終的にこの目標値、最終的にはゼロがいいのだと思いますので、そのためには、これは行政だけがやることではないと思いますけれども、何か受診につなげるような方策が必要かなというふうに思います。

事務局（近藤課長  
補佐兼係長） ありがとうございます。施策の取り組みの中でも、今、新井委員さんにおっしゃっていただいたお話も重要な施策のひとつになってくるものですので、そちらも含めて、また施策の方向性を含めて検討させていただきたいと考えております。

議長（石崎会長） はい。ありがとうございました。

(清野委員挙手)

議長（石崎会長） 清野委員、お願いいたします。

清野委員 資料2の中の自殺者数のところで、令和3年度の目標値が25人。この25人っていう数字は、どうやって出てきたのか、それから、できれば、自殺者はゼロにしたいのではないかという気がするのですが、この数字ができた経緯を教えてください。

議長（石崎会長） はい。今のご質問につきましてご回答お願いできますでしょうか。

事務局（近藤課長補佐兼係長） 国がもともと自殺対策に関する基本計画を持っておりまして、その中では自殺死亡率というのは、いわゆる人口10万人に対して発生する自殺者の割合というところではございますが、そちらの自殺死亡率の割合で10年間で30%を減少させるという目標がございました。

真坂部長 今、ご質問がありましたのは第2次計画策定時の目標のことを言っていたと思うのですが、25人というのは、第2次健康増進・食育推進計画を立てたときの目標値でございます。この計画書の15ページを見ていただきますと、策定する際の自殺者数の推移が載っております。平成22年には40人、23年には41人、そのころがちょっとピークで年間40人程度いるような時から、平成26年には33人までの実績というような、緩やかに低下しているというような実績がございました。そういった実績を踏まえまして、この時は令和3年の時点でどこまで下げるかというような、なだらかに下がってきているところから頑張って25人までというような人数を定めたところでございます。その当時の経過を見ながら、人数を決めたというような経緯がございました。

今回、自殺対策計画で19人以下と出ているのは、またそのあと数年後に自殺対策計画を策定することになりまして、その当時は今、近藤補佐から少し説明のありましたような実績を踏まえた減少率、それが10年後の目標とその時点ということで計算をして、割り出したのが19人以下ということでございます。計画を策定した時期が違いますので、目標値が違っているということで、ご理解いただければと思います。

清野委員 全国平均にならなくても、もう少し減らしていければいいなという気持ちがあったものですからお聞きしました。

事務局（近藤課長  
補佐兼係長） ありがとうございます。

議長（石崎会長） はい。ありがとうございます。次期計画には自殺対策の計画も健康増進と食育と一緒に盛り込んでいく形になりますので、計画の形がどのようなものになるかは、これから検討になるかと思いますが、現計画でいうとおそらく分野別でいうところの2番目「休養・こころの健康」の取り組み・政策の中に位置付けられてくると思っています。

先程、新井委員からもご意見いただきましたが、現在取り組まれている内容につきましては、主に予防に着眼している一般的に広くこころの健康づくりというところと、相談の場の提供・確保というところはございますが、実際に本当に悩んだときにうまく医療機関に繋がるかどうかというところが自殺に至るか否かというところでは、かなり大きな部分があるかとも思いますので、そのポピュレーションアプローチの部分とハイリスク者へのアプローチのところ、もしかしたら取り組みの内容を考えていく必要もあるのかなと思って伺いました。

それから、自殺に関しましては、特にこの久喜市のプロフィールを見ると、年代ですとか、ご家族の有無のあたりが出てきていますけれども、壮年期の方の自殺に関しては、地域での取り組みではかなり限界があるという印象もあります。そうすると、働いている方は職域での取り組みが重要になるのかなというところで、例えば商工会さん等と連携して何かできることがないか、それから地域と職域がいかに連携することができるのかということも、次期計画では少し考えていってもいいのではないかと思います。それは生活習慣病予防にも及ぶところとも思いますので、またぜひ皆様方からご意見いただければと思います。

他にこの自殺の議題につきまして、ご質問や次期計画に向けてのご意見等ありますでしょうか。

(加藤委員挙手)

議長（石崎会長） 加藤委員、お願いいたします。

加藤委員 最近は近所のおつき合いが薄れているのではないかと思います。市役所からの回覧や広報紙を班長さんがお配りになっています。大概の人が、家にい

でもいなくても家のポストに投函してしまい、隣近所同士での立ち話なども最近では薄れております。特に後期高齢者のひとり住まいの方はコロナの関係で今はあまり外へ出ず、孤独な状況で、また、運動不足になったりしています。

私、菖蒲町の出身ですけれども、玄関のチャイムを鳴らしても家にいなければポストに投函するのは仕方ないと思いますが、中にいるのであれば、手渡しをすれば、そのときの健康状態といったものを確認することができます。

各地域にはそれなりの役目を持った役員さん、区長さんはじめ民生委員さん、福祉委員さん、そういった方がおりますので、コミュニケーションをとって、ネットワークを通して、いろいろな情報を発信して地域ぐるみでお助け合いができれば、大難に至る前に対応ができるのではないかと思います。

私が住んでいるところでは、そのような形をとらせていただいて、今は発見も早いですし、心のケアにもなりますので、こういう形で進めていただくことは検討の価値があるのではないかと思います。ひとつ、よろしく願いいたします。

議長（石崎会長） はい。ご意見いただきまして、ありがとうございました。

事務局（近藤課長  
補佐兼係長） ありがとうございます。特にゲートキーパーという位置付けの中で、地域の皆さんというところにも、ご協力をいただくような形がとれるのではないかと考えているところです。これまでも、かつて10年ほど前からゲートキーパー養成に関して進めていっている中で、また改めて地域の皆様にもこういったゲートキーパーというものがあるということを知っていただくとともに、ゲートキーパーとしての取り組みというところにご協力をお願いしていただけるような形で、まずは講習の形などを検討して進めていけたらと考えております。

議長（石崎会長） はい。ありがとうございます。

地域での住民同士の繋がりですが、地域の繋がりがあるほど健康状態がいいという科学的な研究成果もありますので、ぜひその地域の力を生かした健康づくりの取り組みが推進されるように次期計画にも盛り込んでいけたらと思いました。

自殺対策につきましては、一旦ここで締めさせていただいてよろしいでしょうか。

議長（石崎会長） （3）次期（仮称）久喜市健康増進・食育推進・自殺対策計画について  
それでは、次の議題に移らせていただきます。（3）次期（仮称）久喜市健康増進・食育推進・自殺対策計画につきまして、事務局より説明をお願いいたします。

事務局（近藤課長 補佐兼係長） それでは、次期久喜市健康増進・食育推進・自殺対策計画策定に係るアンケート調査の概要について、ご説明・ご報告させていただきます。  
資料7をご覧くださいと存じます。

（資料7の内容について説明）

市民調査につきましては、72の設問で構成されております。内訳として、回答者の属性について8問、栄養や食生活について17問、運動習慣について4問、こころの休養について8問、たばこ・アルコールについて9問、歯の健康について5問、健康づくりについて14問、自殺予防について6問、健康づくりや食育、自殺対策に関する自由意見の募集として1問を設けております。

児童・生徒調査は35の設問で構成されております。内訳といたしまして、回答していただいた児童・生徒さんの属性について3問、健康づくりや食育に関すること15問、たばこ・アルコールに関すること4問、歯の健康について2問、こころの健康について3問、生活習慣について8問となっております。

アンケートの集計・分析につきましては、現在集計中でお示しできていないところがございますが、先程、自殺対策計画策定の件でも申し上げましたとおり、次期健康増進・食育推進・自殺対策計画における課題抽出や施策の検討に資するものでございます。

続きまして、資料8をご覧くださいと存じます。

（資料8の内容について説明）

令和5年度につきましては、例年と比べまして、計画策定に係る協議検討に伴いまして、ご協力をお願いする機会が多々ございます。ご多忙のところ大変恐れ入りますが、引き続きご協力をお願いしたいと存じます。

次期久喜市健康増進・食育推進・自殺対策計画に係る報告は以上でございます。

議長（石崎会長）      ありがとうございました。

ただいまご説明いただきました内容につきまして、ご質問・ご意見等ございますでしょうか。

アンケートにつきましては、昨年度、令和3年9月の会議で1度アンケート案が提示されておりましたが、内容としてはほぼその提示された案のものが実施されたという理解でよろしいでしょうか。

事務局（近藤課長  
補佐兼係長）      はい。一昨年の12月から昨年の1月にかけてアンケートを実施し、年度末までに集計をさせていただいて、現在その集計結果の分析というところで、少しお時間をいただいているところでございます。

議長（石崎会長）      はい。ありがとうございます。今、分析中というところですが、回収率につきましては、前回、現計画のもとになっているアンケートと比べまして、何か違いはございますでしょうか。回収率が上がったとか、年齢の内訳等々、何かもしお分かりになるところで、今お示しいただけることがあれば教えていただきたいと思えます。

事務局（近藤課長  
補佐兼係長）      資料7の下のほうに前回の平成27年度に実施した調査の概要が載っております。小学生の調査、中学生の調査では今回初めてタブレットを使った形で実施させていただいたところですが、結果として回収率がそれぞれで少し低い数字が出てしまったところでございます。市民調査に関しても若干少ないところではございますが、前回とほぼ同じ数値というところでございます。

議長（石崎会長）      前回調査時もなかなか若い世代の状況の反映が難しいところがあったかなというふうに思いましたが、回答者の年齢の内訳等はまた次回にならないと把握が難しいところでしょうか。

事務局（近藤課長  
補佐兼係長）      16歳から39歳の若い年代について申し上げますと、令和3年度は16.4%で平成27年度の時は17.9%と減少の傾向でございます。原因としては、少子高齢化の影響と考えられるかもしれませんが、アンケート

の対象者となる16歳から39歳の年代の方が平成27年度は29.9%というところから、令和3年度に関しては、25.6%に減少しているところ  
でございました。

議長（石崎会長）      ありがとうございます。またアンケート結果が出揃ったところで、各世代への取り組みをどういうふうに進めていくかというところの根拠となる数字として確認しながら進めていきたいと思いをします。

他、皆様からご質問、それからご意見ございますでしょうか。

次期計画の策定スケジュールにつきましてもお示しされましたが、こちらにつきましても何かご意見等ございましたら、お願いしたいと思いをします。具体的な質問の内容等が手元にない中で、ご意見を伺うのがなかなか難しいと思いをしますけれども、計画に向けて1年ないところで進めていく形になりますので、次回アンケート結果が出たところで、それをもとに方向性が考えられていく形になると思いをします。5月の会議は、その結果の確認含め、方向性を決めるところでは重要な会議になるろうかと思いをします。分析を進めるにあたって、例えばこの辺りの数字を特に重点的に状況を知りたいですとか、令和3年9月のものにはなりますが、アンケートの内容でもしご記憶にあるところ  
がございましたら、何かご意見等ございますでしょうか。

こちらはアンケート結果が出たところで、また皆様方からそれをもとにご意見いただくというような形で進めるという理解でよろしいでしょうか。

事務局（近藤課長  
補佐兼係長）      はい。

議長（石崎会長）      それでは、本議題につきましてはここで締めさせていただきます。

#### （4）その他

##### 第10回健康づくり・食育推進大会について

議長（石崎会長）      次の議題に移らせていただきたいと思います。最後になりますけれども、第10回健康づくり食育推進大会につきまして事務局より説明お願いいたします。

事務局（近藤課長  
補佐兼係長）      はい。それでは最後になりますが、令和4年11月5日土曜日に開催いたしました、第10回久喜市健康づくり・食育推進大会についてご報告させて

いただきます。

資料9をご覧いただきたいと存じます。

分野別の項目といたしまして、「栄養・食生活、食の安全・安心」から大会テーマを「食と笑顔で免疫力アップ」として大会を実施いたしました。

2ページ目をご覧いただきたいと存じます。

当初は、参加者来場による方式での開催を予定し、実行委員会を進めたところでしたが、昨年7月以降の新型コロナウイルス感染症の急激な感染拡大による感染者の増加と8月から9月にかけて発令されましたBA.5対策強化宣言といった感染動向を踏まえ、開催方法につきましては、市内の園児、児童、生徒から応募していただいた健康増進・食育推進に関するポスターの入賞作品の展示と当日ホールでの発表を予定しておりました学校、市内の団体の発表内容を動画に収録させていただき、展示会場内で上映といった方式で規模を縮小する形として実施したところでございます。会場は、久喜市総合文化会館、広域文化展示室を使いまして、応募していただいた作品933点のうち、入賞作品150点の掲示とスクリーンを用いました発表動画の上映、健康づくり・食育推進に関するアンケートを行いまして、午前9時30分から午後3時30分までの開催時間の間に約450人の方にお越しいただきました。

現在も入賞作品のうち、金賞と銀賞につきましては、市のホームページへ、発表の動画を市のホームページと市の公式YouTubeチャンネルに上げて、皆様にご覧いただけるようにしているところでございます。

第10回健康づくり・食育推進大会の報告につきましては以上でございます。

議長（石崎会長）

ただいま説明がございました、第10回久喜市健康づくり・食育推進大会につきまして、ご質問・ご意見等ございましたらお願いいたします。

規模を縮小しての実施ということでしたが、大会の方は無事に終了しているというところです。先程、来年度の第11回の大会につきましても少し説明をいただきましたが、今回は、「歯・口腔の健康」をメインテーマとしながら集大成としての位置付けで開催するというお話がありましたので、もし今現在で、どういうふうな方向性でということでお決まりのことがありましたら、教えていただくこと可能でしょうか。

事務局（近藤課長

先程も申し上げました通り、今週の木曜日に第1回目の実行委員会を開催

補佐兼係長) する予定でございまして、改めて会場を使用する方式を考えて進めているところでございます。その中で、親子向けの広く健康に向けた講演会ですとか、またこれまでも各関係機関の皆様にご協力をいただいておりますブース展開等も含めた形で、開催を考えたいところでございます。

以上でございます。

(斉藤委員挙手)

議長 (石崎会長) 斉藤委員、お願いいたします。

斉藤委員 今、お話がありました通りですけれども、つけ加えますと、4月あるいは7月に現執行部の改選がありますので、歯科医師会としては、もちろん協力できるように、皆さんと情報共有して進めて参りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

事務局 (近藤課長) どうもありがとうございます。

補佐兼係長) 来年度につきましても、引き続き健康増進・食育推進会議がございまして、こちらの健康づくり・食育推進大会の進捗等につきましても、随時情報提供、ご報告させていただく形で情報共有できたらと考えております。

議長 (石崎会長) はい。ありがとうございます。久しぶりに会場での大会になりそうだという事ですので、また引き続きお願いしたいと思います。他にご意見等ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、本日予定しておりました議題はすべて終了しましたので、終了とさせていただきます。発言できなかったご意見等、もしございましたら、事務局まで遠慮なくお寄せいただければと思います。

長時間にわたりまして、委員の皆様にはご協力いただきまして、ありがとうございました。ここで議長の任を解かせていただきます。

#### 4 閉会

司会 (渡部課長) 石崎会長、委員の皆様、お疲れ様でございました。

最後に、次回の会議開催の事務連絡になります。先程、資料8で第1回の健康増進・食育推進会議は6月上旬の予定ということで、お知らせをさせていただきましたが、現在のところ、6月5日を予定して開催をしたいと考え

ております。

また、会議の日程近くなりましたら、1か月ぐらい前までに事務局からご連絡をしたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。事務連絡は以上になります。

それでは、閉会のごあいさつを斉藤副会長から頂戴したいと存じます。よろしく願いいたします。

斉藤副会長

皆さん、お疲れ様でした。

ここ何年か、コロナの影響で動きが完全に制御されてしまいまして、動きが凍結されてしまったり、あるいは動きが制限された中で、粛々と活動していただいている皆さん、非常に行動が大変だったと思いますけれども、そのご努力に対して心から感謝申し上げます。

またやっと再始動できるような形になりましたので、皆様のご協力をお願いいたします。

ただ、コロナの変異が止まらず、どんどん変異している状態で、B A. 5もどんどん変異が出て、X B B. 1. 5、そういったものもあります。まだまだ重症化が上がっていくような状況でありますので、その動きを見ながらという形で臨機応変に皆様のご協力をお願いするような形になるかと思いません。

どうぞまたよろしく願いいたします。

以上で閉会いたします。

司会（渡部課長）

ありがとうございました。

以上をもちまして、令和4年度第1回久喜市健康増進・食育推進会議を散会とさせていただきます。大変お疲れ様でございました。どうもありがとうございました。

会議のてん末・概要に相違ないことを証明するためにここに署名する。

令和 5年 2月 6日

久喜市健康増進・食育推進会議 会長 石崎 順子

審 議 会 等 会 議 録